

# 令和2年度 学びの丘 上新田学園 学校評価書

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 4段階評価 | 4 とても良い    3 良い    2 少し悪い    1 悪い |
|-------|-----------------------------------|

| No. | 重点目標       | 評価指標 | 学校としての取組や反省   | 保護者  | 教職員                | 学 校  | 委員会 | 学校関係者評価委員の意見  |
|-----|------------|------|---|--|--------------------|------|-----|---|
| 1   | 保護者・地域との連携 | 1    | 学校は、保護者や地域の声や願いに応える教育を行っている。                              | ○ 菜の花プロジェクトや農業体験等、保護者や地域の方の声を反映させながら可能な限り取り組むことができた。   | 3.31(小)<br>3.47(中) | 3.47 | 3.5 | ・制約のある一年間であったと思われるが、感染対策を最大限配慮したなかで、可能な限り保護者や地域を巻き込んで学校行事を運営するという攻めの方針が、結果的には良い方向に展開している。また、先生方のやる気が十分に伝わってきた。<br><br>・保護者と学校との関係が密になるよう、積極的な関わりが信頼関係の構築につながっている。そのことが家庭内の親子関係にも良い影響を与えていると考えられる。 |
|     |            | 2    | 学校は、各種の便りやホームページ、保護者会等の中で、学校の考え方や取組の様子について伝えている。          | ○ 学校だより「座論梅」やホームページ等で、新型コロナウイルス感染拡大防止に対する考え方を含め、学校の方針や教育活動の様子を伝えることができた。   | 3.49(小)<br>3.43(中) | 3.77 |     |   |
|     |            | 3    | 学校は参観日や行事等を通して、保護者や地域住民と交流のできる機会を適切に設けている。                | ○ 新型コロナウイルス感染拡大防止に最大の配慮をしながら、学校行事等が実施できる方向で検討を重ねるとともに、保護者や地域の方の協力を得て実現することができた。  | 3.46(小)<br>3.53(中) | 3.58 | 3.7 |   |
|     |            | 4    | 学校は、PTA会費や教材費など、家庭から集めたお金について適切に処理し、保護者にも説明している。          | ○ 給食費は地区での集金とし、教材費は口座引き落としとしているが、ほぼ滞りなく納入していただいている。  | 3.63(小)<br>3.64(中) | 3.69 |     |   |
|     |            | 5    | 教職員(担任等)は、各種の便りや懇談会等を通して、子どもの生活状況や学級の様子を伝えている。            | ○ 学級通信は、全学級で定期的に取り組むことができた。  | 3.69(小)<br>3.59(中) | 3.68 | 3.4 |   |
|     |            | 6    | 教職員(担任等)は、児童生徒のよいところや気になることについて、電話や家庭訪問などで家庭との連絡を取り合っている。 | ○ 学級担任をはじめ、全職員でこまめに家庭と連絡を取るよう心がけた。年度当初の家庭訪問を個人面談に切り替えたが、次年度もよりよい連携の在り方を模索していく。   | 3.47(小)<br>3.34(中) | 3.57 |     |   |
| 2   | きめ細かな指導    | 7    | 学校は、楽しく分かりやすい授業を実施している。                                   | ○ 児童生徒の実態に応じた授業改善に努め、基礎学力の確実な定着を図るために、学習の振り返りに注力した。  | 3.55(小)<br>3.29(中) | 3.47 | 3.4 | ・学習指導はもとより、一人一人の進路指導に関してきめ細かな配慮がなされていることがわかり安心した。<br><br>・家庭学習の充実という観点から、ICTを使った家庭学習の取組等も可能になってくると思われるので、今後、タブレットを効果的な手立ての一つとして計画的に使ってほしい。  |
|     |            | 8    | 一人一人の学力を伸ばすためのきめ細かな指導を適切に行っている。                           | ○ 小学部では全学年で放課後の補充学習を週2回、中学部では各教科での個別指導を適宜行っている。  | 3.51(小)<br>3.24(中) | 3.60 |     |   |
|     |            | 9    | 教職員は、子どもの個性をよく把握して、適切な評価や声かけをしている。                        | ○ 児童生徒に対し、タイミングよく声かけができるように時機を逸しない指導を全職員で行っている。<br>○ 家庭学習の方法について学級懇談時に説明を行い、保護者への協力をお願いしている。また、委員会活動の一環として、友達のノートの良いところを進んで学ぼうとする取組を行っている。 | 3.48(小)<br>3.43(中) | 3.52 |     |   |
|     |            | 10   | 家庭と連携しながら、家庭学習の進め方について、適切に助言している。                         | ○ 家庭学習の方法について学級懇談時に説明を行い、保護者への協力をお願いしている。また、委員会活動の一環として、友達のノートの良いところを進んで学ぼうとする取組を行っている。  | 3.35(小)<br>3.14(中) | 3.32 |     |   |
|     |            | 11   | 読書活動の一環、及び課題解決の手段として、本に親しませている。                           | ○ 学校図書館は、各教科の課題解決の手段として積極的な活用をしている。また、お薦めの本をたくさん読むための意識付けとして、学級図書を設置している。  | 3.56(小)<br>3.26(中) | 3.07 |     |   |

| No. | 重点目標          | 評価指標   | 学校としての取組や反省  | 保護者                | 教職員  | 学 校 | 委員会 | 学校関係者評価委員の意見  |
|-----|---------------|--|--|--------------------|------|-----|-----|---|
| 3   | 児童生徒に<br>自信   | 12 教職員は、一人一人を大切にされた学級経営・いじめのない集団づくりを行っている。                             | ○ 年間を通して人権集会を開き、人権担当教員による講話等を通して他を思いやる気持ちや言葉の使い方を学ぶ機会を設定している。また、本年度は、町人権教育研修会の開催校として小中別の授業参観や研究会を行い、人権教育の啓発に努めた。 | 3.44(小)<br>3.29(中) | 3.58 | 3.3 | 3.5 | ・子どもたち一人一人が学級内で認められ、自己有用感も高まっているので、子ども同士の人間関係が良好であると考えられる。                        |
|     |               | 13 児童生徒同士が互いに認め合うコミュニケーションづくりに取り組んでいる。                                 |  | 3.48(小)<br>3.40(中) |      |     |     |   |
|     |               | 14 子どもに自信をつけさせるために、授業や行事等で児童生徒が発表したり活躍したりする場を与えている。                    | ○ 意図的に自分の意見を堂々と発表する場面や機会を設定することで、児童生徒の自己有用感を高めている。また、多様な考えを受け入れることのできる学級や学校全体の風土作りも目指している。                       | 3.64(小)<br>3.49(中) | 3.55 |     |     |   |
| 4   | 小・中学部間<br>の連携 | 15 小・中学部間の連携を図る授業や取組を適切に行っている。   | ○ 小学部3年生から乗り入れ授業を行い、中学部職員による専門的な授業を行うことができた。   | 3.43(小)<br>3.44(中) | 3.57 | 3.4 | 3.5 | ・新型コロナウイルス感染防止対策だけに限らず、日頃から感染症予防は対する十分な取組が伺えたが、今後とも子どもたちの体調管理や免疫力アップをお願いしたい。      |
|     |               | 16 立腰や語先後礼のあいさつの仕方等、礼儀や姿勢を意識した学習環境づくりを適切に行っている。                        | ○ 学習図書委員会を中心にした取組により、整然とした環境で授業を開始することができている。  | 3.58(小)<br>3.48(中) |      |     |     |   |
|     |               | 17 思いやりの心やルールを守る態度、協調性など、心を育てる授業や教育活動を適切に行っている。                        | ○ 毎月、全職員で児童生徒理解の場を設け、小中の垣根を超えた適切な支援を行っている。   | 3.52(小)<br>3.41(中) | 3.48 |     |     |   |
|     |               | 18 安全、健康に関する授業や教育活動を適切に行っている。  | ○ 学期1回の避難訓練や毎月の安全点検、また熱中症や感染症予防等、学校全体で危機意識の高揚に努めている。   | 3.60(小)<br>3.51(中) | 3.52 |     |     |   |
|     |               | 19 いのちを大切に教育や人権教育、情報教育など、今日的な課題についての教育を適切に行っている。                       | ○ 担任による性教育の授業や「か母ちゃっ子くらぶ」「ピアサポート」等、性教育を計画的に行った。また、ICT教育やプログラミング教育についての研修も計画的に実施している。                             | 3.57(小)<br>3.49(中) | 3.55 |     |     |   |
|     |               | ※ 効率よく業務が遂行できるように教職員相互で連携し、勤務時間を意識した取組ができている。                          | ○ 全職員で業務を見直す機会を設けることで、効率よい働き方につながっている。一方、個々の職員への意識改革を促す働きかけは必要である。   | 教職員のみ              | 3.13 |     |     |   |
| 5   | 上新田<br>スタンダード | 20 自他を高める学習5原則（1分前着席、大きな声で始めと終わりの挨拶、忘れ物ゼロ、授業に集中、きちんと家庭学習）について取組を行っている。 | ○ 学校だよりや学級通信等で学校の現状を伝えるとともに、授業への集中力を高める取組として、家庭におけるゲーム時間の設定やルール作り等の協力をお願いすることができた。                               | 3.58(小)<br>3.55(中) | 3.42 | 3.4 | 3.5 | ・基本的な生活習慣は、やはり家庭教育が鍵を握る。規則正しい生活リズムのためのゲームや携帯、スマホ等に関するルール作りなど、さらなる学校からの情報発信が必要である。 |
|     |               | 21 自他を大切にする生活3原則（温かい学校、美しい学校、元気よい学校）について取組を行っている。                      | ○ 毎月の凡事徹底を掲げ、全校で取り組んでいる。進んであいさつのできる子どもたちも増え、廊下等での会話が随所に見られるようになった。   | 3.57(小)<br>3.51(中) |      |     |     |   |
|     |               | 22 ふるさとを大切に思い、子どもたちの夢を育む教育に取り組んでいる。（キャリア教育）                            | ○ 校長講話、学級活動、道徳の時間をはじめとして、教育活動全体を通して、夢を抱き夢を語る児童生徒の育成に努めた。   | 3.56(小)<br>3.52(中) | 3.37 |     |     |   |

#### 次年度の方向性についての校長所見

- 1 家庭・地域との良好な関係作りを築くとともに、今後も積極的な情報発信と共通理解を図りながら「地域とともにある学校づくり」を目指す。
- 2 教科の専門性を生かした授業やきめ細かな生徒指導及び特別支援教育を推進するための支援体制を整備することで、小中一貫教育校及び本校ならではの教育を推進する。
- 3 安心・安全な環境を作るとともに、自己有用感を持たせる機会を意図的・計画的に作ることで、児童生徒一人一人の成長を促し、夢や可能性を追求していく。